

## 編集後記

井上正蔵先生は、昭和五八年三月、定年で本学を退任された。先生は、昭和五二年四月、法学部の創設に際して、本学教授に就任され、爾来六年間、大学院および法学部で学生の教育にあたられた。純粹で、鋭い感性に支えられ、「若さと情熱」にみちた先生の講義は学生のみならず、法学部教員にも深い感銘を与えられた。

先生のご退任を機に、われわれは「成城法学・教養論集」を先生のご古稀をお祝いする記念論集として編集することとした。

われわれの大きな喜びは、先生の玉稿をもって、本論集の巻頭をかざることができたことである。また、学年末の多忙な時期での石川学部長のご寄稿に深謝するとともに、予定した投稿者全員、すなわち法学部一般教育担当教員一同および中川前学部長のご投稿がえられたことを幸とするものである。

井上先生は、ご退任後も、ますますお元気で、ご専門のドイツ文学、さらに、年来の宿願であった永井荷風研究にいそしんでおられる。

願わくば、先生には、さらにご自愛、ご加餐の上、末永く、われわれ後学に指針をおあたえくださることをお祈りする次第である。

昭和五十九年一月

編集担当 中川 和彦

小松 博

-----

100-100000

100-100000

100-100000

100-100000

100-100000